普及啓発

# 千葉県　千葉市（木育環境学習イベント）

- 千葉市は、「千葉市環境教育等基本方針」を策定し、環境教育等の推進に取り組んでいる。
- 令和4年8月、幼児～小学生に木に親しんでもらうとともに、森林の大切さについて理解を深めてもらうための木育イベントを実施した。

## □　事業内容

**ちば木育イベント**

- 小学生向け（親子連れ）の木育を含む環境学習としての体験イベントを開催し、県産材の間伐材等を利用したおもちゃや木工作等の体験を通して、木に親しむことで間伐材等の利用のメリット（森林の健全な育成、温暖化対策のための吸収源の整備）について普及啓発を図る。
- 【事　業　費】711千円（全額譲与税）
  【実　　績】約300名参加

## □　取組の背景

- 平成17年3月、環境教育等を推進するため「千葉市環境保全・創造の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本方針」を策定した。
- 令和3年9月、国内外における環境教育を取り巻く状況が変化していることを踏まえ、持続可能な社会の実現に向けて、木育などの施策を盛り込んだ「千葉市環境教育等基本方針」を新たに策定し、環境教育等の推進に取り組んでいる。
- 令和4年8月、県産材を利用したおもちゃや木工作等の体験を通して、幼児～小学生に木に親しんでもらうとともに、森林の健全な育成や温暖化対策における吸収源の整備等、森林の大切さについて理解を深めてもらうための木育イベントを実施した。

（ちば木育イベント開催時の様子）

## □　工夫・留意した点

- 対象とする小学生が参加しやすいように夏休み期間の開催及び幼児や小学生の利用が多い図書館等でのチラシ配布を行った。
- 開催施設の子ども交流館利用に際して、事前登録が必要となることをチラシに掲載等の広報時及び当日受付時に案内を行い、円滑なイベント参加となるように留意した。

## □　取組の効果

・参加者へのアンケート結果より約99％が「また参加したい」と回答しており、「色々な木のにおいがあって楽しかった」等の感想もあり木に親しんでもらう効果は得られた。

・「若い子供たちが地球温暖化を身近に感じるきっかけになれば良い」との感想からイベントへ参加した親世代の森林整備の重要性についての理解醸成のきっかけ作りとなった。

### ◇　基礎データ

| | | |
|---|---|---|
| ①令和４年度譲与額：116,324千円 | ②私有林人工林面積（※１）：1,854ha | |
| ③林野率（※１）：20.7％ | ④人口（※２）：974,951人 | ⑤林業就業者数（※２）：59人 |

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より